

ICTで 授業 をDX!

学年 中学校1年 教科 国語 など

Googleアプリ・ロイロノートで共同作業・意見交換

使用するアプリケーション等
・Googleドキュメント
・ロイロノート

単元・題材 情報を読み取ろう

本時の目標 根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。

ICTを活用することで できること

- Googleドキュメント（レポート）の共同編集
 - ・情報を共有しながら作業を行うことで、自分とは異なる考えを即座に反映することができる。
 - ・紙ベースで行っていた作業時間（話し合いながら書く、消すなど）が減り、コミュニケーションをとる時間が増える。
- ロイロノートによる意見交換
 - ・複数の意見を、各自の画面で同時に見比べることができる。
 - ・グループで意見交換をする際に、プリントを回したりする時間が減り、コミュニケーションの時間が増える。

DX前（ICTを使っていなかった頃は・・・）

1 導入

- ① 前時に使用したプリントを見ながら、新聞広告を分析する観点を整理・復習する。
本時の目標を確認する。

2 展開

めあて 新聞広告に用いられている工夫について考えよう。
学習活動 分析の観点に沿って新聞広告を分析し、気付いたことをグループで共有し、レポートにまとめよう。

- ① 新聞広告を分析する。
 - プリントに自分の考えをまとめる。
 - ② グループになって分析結果を発表し合う。
 - プリントにグループの意見を記入してまとめる。
 - ③ 各自でレポートを作成する。
 - ④ レポートの清書
 - ②のグループになり、レポートを持ち寄って訂正・加筆を行い清書する。
- #### 3 まとめ
- ① 本時のまとめ
 - 新聞広告は、テキスト・イラスト・図・表・写真など、様々な情報を組み合わせて作られている。
 - 次回、各グループで作成したレポートを発表する。

DX!

DX後（赤字はICT活用場面）

1 導入

- ① **ロイロノートに配布した写真などの資料や、前時に使用したデータを見ながら、新聞広告を分析する観点を整理・復習をする。**
本時の目標を確認する。

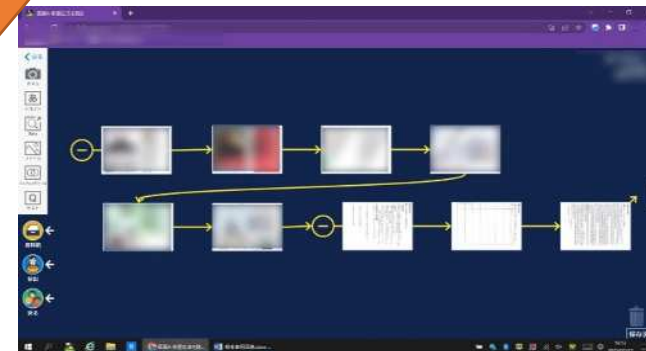
2 展開

めあて 新聞広告に用いられている工夫について考えよう。
学習活動 分析の観点に沿って新聞広告を分析し、気付いたことをグループで共有し、レポートにまとめよう。

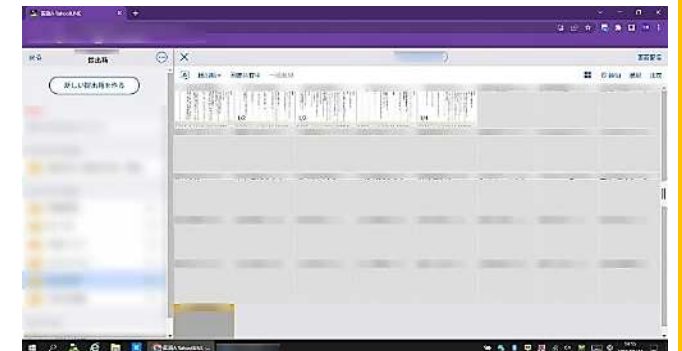
- ① 新聞広告を分析する。
 - **ロイロノートの資料に自分の考えをまとめる。**
- ② **分析結果をまとめた資料をグループのメンバーに送信する。**
 - グループのメンバーの資料に目を通す。
- ③ **ドキュメントでレポートを作成する。**
 - ②で送られてきた資料を自分のものと比較し、グループで話し合いながらレポートを作成する。
- ④ レポートの提出
 - **完成したレポートをデータで提出する。**

3 まとめ

- ① 本時のまとめ
 - 新聞広告は、テキスト・イラスト・図・表・写真など、様々な情報を組み合わせて作られている。
 - 次回、各グループで作成したレポートを発表する。



↑ 広告の画像や課題の資料をまとめて送ることで、一目で資料が全て見られるようになります。グループのメンバーから送られてきた資料もグループ内で共有できます。



↑ グループのメンバーごとに提出させることで、誰がどのように分析を行ったかを、教師側も把握できます。未提出の生徒に声をかけることもできます。

授業者から（成果・課題・留意点）

- ・資料が一つの画面で完結するため、配布する時間が減るとともに、生徒のプリントの紛失や忘れ物が減った。
- ・グループメンバーとの情報の共有を端末で行うことで、プリントを回したりする必要がなく、スムーズに行われた。
- ・Googleドキュメントで共同編集を行うことで、消したりする手間が少なく、加筆や修正を積極的に行う生徒が多かった。
- ・うまく自分の考えをまとめることができない生徒は、端末上で友達のを参考にしながら進めることができた。
- ・レポートの提出に、Googleクラスルームなど別のアプリを併用したため、提出方法がやや複雑になってしまった。